

パートナーシップおかや

NO...1

岡谷市男女共同参画推進市民の会

仕事も家庭も共同で

岡谷市男女共同参画推進市民の会会長 伊藤綾子

かねてより懸案でありました「市民の会」独自の情報紙を発行することになりました。これも地域の関係者のご支援と市民の会会員の熱意が実ったものと感謝しております。

さて「市民の会」は、平成14年に男女共同参画コミュニケーター（男女共同参画を推進するために県より委嘱された人）5名が、岡谷市に推進団体が無いことを危惧し、当時の女性市議員5名と共に公募をし、23名で岡谷市男女共同参画推進市民会議を設立したことに始まり、その後改称して現在30名で活動しています。

「岡谷市男女共同参画条例」や「男女共同参画プラン」策定、「市民のつどい」の運営に協力するなど行政と協働して活動する一方、会の事業としては、「広報おかや」に啓発記事を掲載したり、区長会や女性区議との懇談会、パートナーシップ講座の開催、先進地を訪問して意見交換するなど共同参画推進のために様々な活動を行っております。

社会の現状は、国際化、情報化などグローバル化している一方、少子高齢社会となって私たちのライフスタイルも多様化しています。社会全体で固定的役割分担やこれまでの慣習・しきたりなど意識やしくみの見直しをしないと現代社会に対応できなくなりました。

仕事、家事、育児、介護、地域活動に男女が協力し合いながら参加し、責任を分かち合いながら住みよいまちづくりを進めていこうではありませんか。

私たちと一緒に活動してみようと思われる方をお待ちしています。

「松本ソントラ」からの助成金を有効活用して



助成金贈呈を受ける伊藤会長
ほか各団体の代表

松本ソントラクラブは、女性の地位向上のために共に働く事業経営者や専門職でつくる地球規模の団体「国際ソントラ」の一員です。今年創立15周年を迎え、女性の地位向上や子育て支援に取り組む団体として「市民の会」が助成金5万円をいただきました。贈呈式には正副会長が出席しました。市民の会では、この助成金を有効に活用するべく、事業部会・広報部会・研修部会の3部会により活動計画を立てて進めています。「男女共同参画週間」の展示や12月に予定されている「岡谷市民のつどい」「パートナーシップ講座」への取り組み等を行います。情報紙発行もその一環です。

御柱祭 で 見た 感じた

御柱祭の祭典委員になった。「女が御柱祭にかかわっていいんですか」と言うと「いいさやあ」と祭典委員長さん。御柱祭の寄付集めは大変だったが、小宮の見立てから伐採、大社の山出し・里曳きに関わり得がたい体験をさせてもらいました。

祭典委員会の度に、会費1000円で懇親会が開催される。食べて飲んでこの会が、氏子の絆を強めていることに気がついた。お陰で、「安全第一・時間厳守」の合い言葉で「奥山の大木里に下りて神となる」を実感。

やってみなければわからないことは、まだまだたくさんありそうです。



御柱祭の賑わいが一段落した頃

皆さんに

聞いてみました



初めて木落とし坂を覗いてみて驚いた。大変な急傾斜。あまりに曳き子が多くて危険。女性と子どもは脇の階段を降りるようにとの指示。差別。いや、女性や子どもの命を大事にするという心づかいだ。思いやりこそ「共同参画」の真髄だ。



男性の整える宴会のつまみは、冷や奴・いわしの缶詰枝豆にソーセージとピーナツ。素朴で思わず笑みがこぼれる。そのうちにスーパーのオーダブルになったら、終了後、思い切りよく捨てるのが気にかかる。もったいない。多量の生ゴミ。ケチとエコは男性にも実践してもらいたい・・・と。

綱係も梶子係も空身。弁当はどうしたのだろうかと思ったら、何と昼食時は家族と一緒になごやかに。花見か昔の運動会のようなこれぞ祭りの醍醐味。地域揃っての御柱祭区の休憩所の接待役は女性に限らなかった高齢者はテレビの前かと思ったら、御柱にはもう関心がないと。ちょっと寂しい。

祭の要素は神事と娯楽。近年は観光の要素も加わっている。神事はあくまでも古式床しく。しかし、時世と共に歴史をつくってきたのが娯乐的要素と観衆の姿ではないだろうか。

今回は、老若男女を問わず、氏子衆の心意気が各々の持ち場から強く伝わってきて最高の祭だった。七年に一度の御柱祭であるからこそ、氏子衆の質の高い自覚に合わせ、自分らしく祭に関わることだと思ふ。まさに「共同参画」ではないだろうか。



御柱祭

有車いゝる

法被の子

男女共同参画

太古の昔から「男の祭」と言われてきた御柱祭。仕事の都合で、山出し・里曳き共に生放送の視聴。お天気にも恵まれ、氏子の気合いの入った曳きっぷりが画面より伝わってくる。七年に一度ともなれば血も騒ぐし、力も入っている。

今回の御柱、女性の活躍する姿があちらこちらに見受けられ、「いいねえ〜」。

おんべを持った木遣り衆、ラッパ隊の中にも。

また、片肌脱いだカッコいいお姉さん達。長持ちや騎馬行列の草履とりに女の子がいたり・・・と。勿論縁の下の力持ち消防団で警備や救護に汗を流している女性も。神事・祭事の伝統は別としても、それぞれが協力し合い、楽しみながら参加できた祭であったのではないだろうか。



御柱祭はかなり危険な祭。だから「無形文化財」にならないとも聞いた。そのため安全第一で、時間や場所によって厳しい規制が張られることもしばしば。警察官・警備員・消防団の中にたくましい女性の姿を見てきた。一方観客は、規制ロープの内と外で繰り広げる攻防戦。ロープ近くから離れない人。ロープをくぐり抜けて危険箇所へ入ってしまう人。「木落とし坂」へ入れて欲しいとお洒落な服装で迫ってくる女性。昔だったら目にしない光景だったに違いない。女性の参加が難しいと言われてきた御柱祭だったが女性の参加も増えている。しかし、危険の伴う祭だけに、ルールを守るという常識をもって欲しい。



どう感じられたのでしょうか
小宮の御柱祭も楽しみです



御柱
男女がまじる
伸びやかな



「あの家は、一度も御柱に呼んでくれない」と親戚が噂するとも聞いた。

お祭大好きの人もいれば、億劫な人もいる。御柱祭の時は、家族で旅行に出かけるところもあるとか。それを非難されては気の毒だ。ましてや御柱街道の人たちの心中はどうだろうか・・・とみんなで集まって飲み食いすることは楽しく絆を深める大切なことで、この祭が諏訪の人たちの心を繋いできたに違いない。しかし、その陰でご苦労されている人のことを忘れてはならないと思わされた。

里曳きや
幼児への
胸で寝る

男女共同参画社会づくりに向けての 全国会議 参加報告

内閣府が男女共同参画推進連携会議の協力を得て、去る6月22日(火)に東京のメルパルクホールで開催された全国会議に、岡谷市からバスを出していただき「市民の会」その他の団体、公募の方々等30名が参加しました。

玄葉特命担当大臣、坂東局長の開会の挨拶に続いて、講演とパネルディスカッションが行われました。

◇ **基調講演**は、講師 北海道大学法学部の宮本太郎教授
演題 「老若男女の参画社会へ～生活保障の新しいデザイン～」

◇ **パネルディスカッション**は
テーマ 「話そう、働こう、育てよう。いっしょに。」
パネリスト 河野真矢子氏(会社社長) 成澤廣修氏(文京区長)
山下 由美氏(農業経営者)
コーディネーター 山本 恵子氏(NHK名古屋放送局報道部記者)



参加者の声

まだまだ男女共同参画について理解できていなかったのですが、今回方向性のようなものにとっても共感できることがわかり安心しました。「女性としてやるべきことはやらないと」と耳の痛い話もありましたが、まず自分から行動を起こしていかなければと改めて思いました。

今後どのように世の中が進んでいくのか不安もありますが、本当に大切なものが守れるように導いていかなければと感じました。(宮下雅絵)

パネルディスカッションは大変良かった。特に成澤文京区長の体験に基づく発言には感動すらした。男女共同参画について一つのヒントを得られた気がする。機会があれば、今後も同イベントに参加したいと思う。(平井一義)

老若男女の社会参加がこんなにも経済と結びついていることを知りました。非正規雇用が増加し社会福祉を現役世代が支えきれなくなって女性がパートに出る。外国の例から「女性労働力率の高い国は経済も好調」を参考に、高福祉・高負担は厳しいが「強い社会保障をしていかなければ日本は生き残れないのではないか」という感を持ちました。

後半の現役バリバリの3人のパネリストも凄い。さすが日本のトップ。我々高齢者にもできる介護雇用プログラム等再チャレンジ支援などを利用して、自分の居場所づくりに努力したいと思いました。(小口光子)

基調講演の北大教授が、現政府と同様の説明を行っており、内容の濃い意義深いものだった。パネルディスカッションは、男女共同参画について各々の考えが述べられたが、家庭内で意見交換し、自分にできることを積極的に行うことが大切だと思った。今回の会議では、普段考えていなかった事を学習できてよかったし、今後に生かしていきたい(濱 勉)

二回目の参加となり大変勉強になりました。男女共同参画社会づくりにはまだ女性自身の意識改革が必要ですし、男性側の積極的家事、育児、介護への参加が不可欠と感じました。家庭で地域で職場で常に意識して自らの姿勢を示すというパネラーのお話も大変良かったです。市内のすばらしい皆さんと有意義な時間を共有させて頂き、精神レベルが向上したような気分でした。(三澤さき子)

お知らせ

◇7月10日(土) 午後1時より
“あいとぴあ”で「男女共同参画フォーラム」が開催されます。「市民の会」では朗読劇を発表します。多数ご参加ください。

◇10月1～2日に京都で「日本女性会議」が開催され、現在参加受付中です。男女共同参画に関して幅広く実践につながる研修ができます。参加は女性に限りません。詳細は市企画課にお問い合わせください。